



平成 20 年 10 月 30 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 執行役員財務法務部長 大瀧 秀樹
電話 03-6803-3970

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異及び
通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 5 月 15 日付当社「平成 20 年 3 月期決算短信（連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想 (A)	9,780	110	80	40
今回修正予想 (B)	8,330	60	15	△ 30
増減額 (B-A)	△ 1,450	△ 50	△ 65	△ 70
増減率	△14.8%	△45.5%	△81.3%	—

(2) 修正の理由

売上高につきましては、景気減速及び移動体通信事業における携帯電話端末の機種変更期間長期化による取扱高減少幅が予想を上回ったこと等により、前回予想比 1,450 百万円減の 8,330 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上総利益率の改善及びコスト削減等に努めましたが、ネットビジネス事業において当期に取得したソフトウェアの償却費負担増等が影響し、前回予想比 50 百万円減の 60 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、その他事業等に属する関連会社にかかる持分法による投資損失計上額が予想を上回ったこと等により、前回予想比 65 百万円減の 15 百万円となる見込みであります。

上記の結果、四半期純利益につきましては、税金費用の増加等を含め、前回予想比 70 百万円減の△30 百万円となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	21,680	650	550	175
今回修正予想 (B)	17,000	400	250	70
増減額 (B-A)	△ 4,680	△ 250	△ 300	△ 105
増減率	△21.6%	△38.5%	△54.5%	△60.0%

(4) 修正の理由

通期業績予想につきましては、下期の携帯電話販売状況が依然厳しく推移することが予想されることから、売上高は前回予想比 4,680 百万円減の 17,000 百万円、営業利益は、前回予想比 250 百万円減の 400 百万円、経常利益は、前回予想比 300 百万円減の 250 百万円、当期純利益は、前回予想比 105 百万円減の 70 百万円となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
第 2 四半期	10,959	151	109	△254
通期	22,742	688	588	40

2. 平成 21 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	8,980	10	10	5
今回修正予想 (B)	7,000	27	22	△ 18
増減額 (B-A)	△ 1,980	17	12	△ 23
増減率	△22.0%	170.0%	120.0%	—

(2) 修正の理由

売上高につきましては、景気減速及び移動体通信事業における携帯電話端末の機種変更期間長期化による取扱高減少幅が予想を上回ったこと等により、前回予想比 1,980 百万円減の 7,000 百万円となる見込みであります。

利益につきましては、サービス向上による売上総利益率の改善及び業務効率見直しによるコスト削減効果等により、営業利益は、前回予想比 17 百万円増の 27 百万円、経常利益は、前回予想比 12 百万円増の 22 百万円となる見込みです。ただし、四半期純利益につきましては、滞留債権に対する追加引当計上による貸倒引当金繰入額等の特別損失が約 42 百万円あり、前回予想比 23 百万円減の△18 百万円となる見込みであります。

(3) 通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	19,240	280	280	90
今回修正予想（B）	14,000	260	250	80
増減額（B-A）	△5,240	△20	△30	△10
増減率	△27.2%	△7.1%	△10.7%	△11.1%

(4) 修正の理由

通期業績予想につきましては、下期の携帯電話販売状況が依然厳しく推移することが予想されることから、売上高は前回予想比5,240百万円減の14,000百万円、営業利益は、前回予想比20百万円減の260百万円、経常利益は、前回予想比30百万円減の250百万円、当期純利益は、前回予想比10百万円減の80百万円となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	9,986	148	146	△313
通期	20,308	509	496	△209

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上